

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 本巣松陽高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月28日(火) 13:10～15:10
- 3 開催場所 本巣松陽高等学校 銀杏館会議室
- 4 参加者

会 長	川治 秀輝	本巣市教育長(欠席)
副会長	長屋由喜子	公益財団法人加藤記念奨学会理事
委 員	石川 孝信	もとす広域保護司
	大草 由美	元PTA会長
	近藤 邦明	PTA会長
学 校 側	下野 宗紀	校長
	立川 茂	教頭
	小県 佳子	事務長
	日比 学	教務主任
	山本 博	生徒指導主事

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 授業参観と前期終了時点における取組状況と今後の見通しについて
(前期終了時点における取組状況と地域探究活動の紹介)
校長から説明した。
- (2) 学校評価の集計結果について
教頭から説明した。

意見1：タブレットの起動が遅く、使用開始に時間がかかる生徒もいたが、使用機会を増やすことで慣れていってほしい。前半の学校教育の実践報告を聞き、地域密着型の教育を推進してほしい。PTAでは「人生の先輩と語る会」などに協力しているが、保護者への周知が不十分な面があったので、保護者参観の機会が増えるとよい。日頃の教員の丁寧な指導に感謝しており、今後も継続してほしい。

回答⇒校内Wi-Fi環境については、来年度に一定の改善予定。

意見2：公開授業では、グループワークの重要性を感じた。Wi-Fi環境の改善は期待したい。保護者は子どもからの情報が主だが、アンケート結果から、学校の情報が伝わっていると感じた。今後学校の取組が中学生に伝わり地域貢献に意欲ある生徒が入学し、学校がどのように変化していくか楽しみである。バス停の名称が「本巣松陽高校南」に変更された。高校名が広がるよいきっかけとなっている。スクールミッションを浸透させるため、学校案内などに掲載できるとよい。

意見 3 : 学校評価アンケート結果から、教員の取り組みの成果が表れていると考えられる。

意見 4 : 公開授業で「理想の市民とは？」という問いがあったが、その後の展開を見たくなかった。校舎の美化をより推進できるとよい。

意見 5 : 公開授業を通じて、生徒の表情が明るくなったことが印象的だった。対話が生まれる環境が重要であり、探究的な学びが個人の力となり、学校全体の力にもつながる。教員は「教えるプロ」ではなく「共に学ぶプロ」であるべき。タブレットの使用が目的化しないよう、ホワイトボードには使い方ではなく授業内容が板書されるとよい。地域や大学との連携がこの学校の強みといえる。「探究的な学習」ではなく「探究学習」として明確な目的をもって進めてほしい。

スクールポリシーの浸透について、生徒が作る方向性にとすると、より充実した学校目標になるのではないかと。また、それに合わせて毎年更新してもよい。

⇒スクールポリシーを生徒が作るというご提案は非常にありがたい。生徒の声を反映することで、生徒が学校目標を意識でき、新入生への影響も期待できるようになると考えられるので前向きに検討したい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、授業参観と前期終了時点における取組状況と今後の見通し等について、地域探究活動の報告も含めて協議を行った。どの委員からも活発に意見が出され本校の課題や解決のための具体的な手立てについて貴重な示唆を得ることができた。

今回の学校運営協議会でいただいたご意見は、職員間でも共有し、生徒が主体的に学校生活を送ることができるよう積極的に改善の糸口を探っていきたい。

第3回学校運営協議会では、学校経営方針の自己評価についての意見交換を行う予定である。